

2007年(平成19年)12月10日 月曜日

# 安全・安心な交通論議

## ハビタット 福岡で国際専門家会議

開発途上国の急激な都市化が抱える問題の改善に取り取り組む国際関係者(ハビタット)アジアマは国際専門家会議を福



安全・安心な交通の確立について話し合われたハビタットの国際専門家会議＝10日午前10時、福岡市博多区の福岡国際会議場

岡市博多区の福岡国際会議場で開催された。同事務所開設十周年の記念企画で、国交省が共催。アジアの各都市では、大の死者を生んでいる都市化の進行に伴い渋滞や大気汚染などの交通公害が深刻化しており、その克服や安全確保が課題となっている。会議では「自然災害を含めても最

(都市環境計画学)をコ一ディネーターに、外井哲志・九州大准教授(都市システム工学)とスルヤ・ラージ・アチャリエ運輸政策研究機構主任研究員のバネリスト二人が「都市計画の中で道路を確実な位置付けることが安全と環境のために必要」

午後には「アジア都市ジャーナリスト会議」(西

日本新聞社と同事務所主催)が開かれ、アジア八

力国・十都市から集まった新聞社の編集委員らが

「交通と環境」を主要テーマに、温室効果ガスの削減などに向け何ができ

るか、都市の連携のあり方について話し合う。

谷口守・岡山大学教授

提起。

や、安全な交通・輸送に

野田順康・同事務所長が

提起。

写真提供：ハビタット・アジアマ